

<p>1. 過去の競争政策のレビュー</p> <p>昭和60年の電気通信市場の自由化、電電公社の民営化以降、置かれてきた各種規制緩和や制度改正等が電気通信市場の公正競争にもたらした効果等を検証。</p>	<p>3. ICT産業全体の国際競争力強化</p> <p>少子高齢化による国内市場の縮小を補い、新たな雇用を創出する観点から、コンテンツ事業者、メーカー等を含む幅広いICT関連企業によるオールジャパン体制でのグローバル展開を促進する方策を検討。</p>	<h2>グローバル時代におけるICT政策 に関するタスクフォース 地球的課題検討部会(第3回)</h2>
<p>2. 電気通信市場の環境変化への対応</p> <p>IP化、ブロードバンド化、モバイル化等近年及び将来の市場環境の変化を踏まえ、グローバルな視点から市場のさらなる発展に向けた課題の解決方策について検討。</p> <p><検討の視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の電気通信市場の将来像 ・競争政策、ユニバーサルサービス制度の在り方 ・国際競争力の強化、消費者の権利保障の在り方 等 	<p>4. 地球的課題等の解決への貢献</p> <p>創造、協働の理念に基づき、環境問題や医療問題といった世界各国が直面している地域的・地球的課題について、コンテンツの豊かな流通を含むICTの活用により、全ての人が等しく恩恵を享受できるような解決方策を検討し、来年度のAPEC閣議合会等の場で提示するなど、リーダーシップを発揮する。</p>	

ICTによる「夢」づくりについて

2010年1月29日

NRI 野村総合研究所
シニア・フェロー
村上輝康



ICT政策タスクフォースの取り組み

ICTのサプライサイド

1. 過去の競争政策のレビュー

昭和60年の電気通信市場の自由化、電電公社の民営化以降、講じられてきた各種規制緩和措置や制度改革等が電気通信市場の公正競争にもたらした効果等を検証。

2. 電気通信市場の環境変化への対応

IP化、ブロードバンド化、モバイル化等近年及び将来の市場環境の変化を踏まえ、グローバルな視点から市場のさらなる発展に向けた課題の解決方策について検討。

<検討の視点>

- ・今後の電気通信市場の将来像
- ・競争政策、ユニバーサルサービス制度の在り方
- ・国際競争力の強化、消費者の権利保障の在り方

3. ICT産業全般の国際競争力強化

少子高齢化による国内市場の縮小を補い、新たな雇用を創出する観点から、コンテンツ事業者、メーカー等を含む幅広いICT関連企業によるオールジャパン体制でのグローバル展開を促進する方策を検討。

4. 地球的課題等の解決への貢献

創造、協働の理念に基づき、環境問題や医療問題といった世界各国が直面している地域的・地球的課題について、コンテンツの豊かな流通を含むICTの利活用により、全ての人々が等しく恩恵を享受できるような解決方策を検討し、来年度のAPEC関連会合等の場で提示するなど、リーダーシップを発揮する。

ICTのデマンドサイド

地球的課題検討部会における取り組み

- 「医・食・住」の日本型21世紀システムの確立
- 地域医療xソーシャルキャピタル
- 電子政府・電子自治体、医療・健康、教育・自治体
- 人間中心のICT
- 環境問題、地域医療、80歳以上10%超社会の課題
- ICT教育の改善、情報化村政策
- 電子政府・電子自治体xクラウドコンピューティング
- ICTによる地域の絆作り
- 情報リテラシー、アクセシビリティ

...

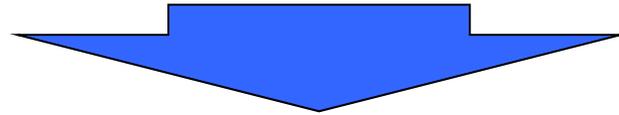
—地球的課題検討部会コンセプト・テーマアンケートより

今、目の前にある問題にどう対処すべきか。

生活や産業の将来の「夢」に繋がるテーマは？

ICT「夢」プロジェクトの位置付け

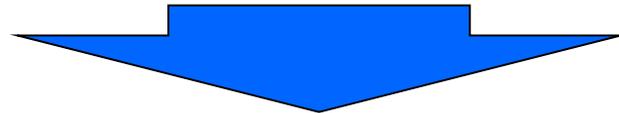
今、目の前にある問題にどう対処すべきか。



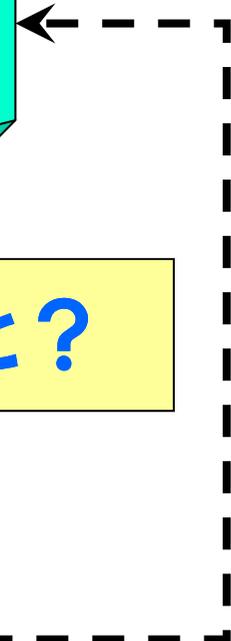
地球的課題対応ICT政策

+

将来の「夢」のために今やっておくべきこと？



ICT「夢」プロジェクト



「夢」を失いつつある ICT

- 学生・生徒の「ICT離れ」
 - － 理系離れ
 - － 情報関係学部・学科の人気の低下
- 国のICT政策のプライオリティの低下
 - － ICT政策の空白(IT戦略、セキュリティ政策)
 - － くるくる変わるIT担当大臣、兼職としてのIT
- ICT産業の閉塞感
 - － ガラパゴス化
 - － 新興国プレイヤーとの競争
 - － 海外起点の破壊的イノベーションの普及
(クラウドコンピューティング、iPod,iPhone、電子ブック、、、)

情報の世紀である21世紀が始まり、新興国が膨大なIT人材の育成に取り組み始めた時に、日本では「ICT離れ」

ICT「夢」プロジェクト

I. 生活者にICTの「夢」を伝える

生活者の将来の「夢」に結びつくICTで、今、やっておくべき研究開発プロジェクトを、研究者の関心だけでパッケージするのではなく、生活者の関心でパッケージして的確に伝える努力

II. 産業のICTの「夢」の実現を着実に進める

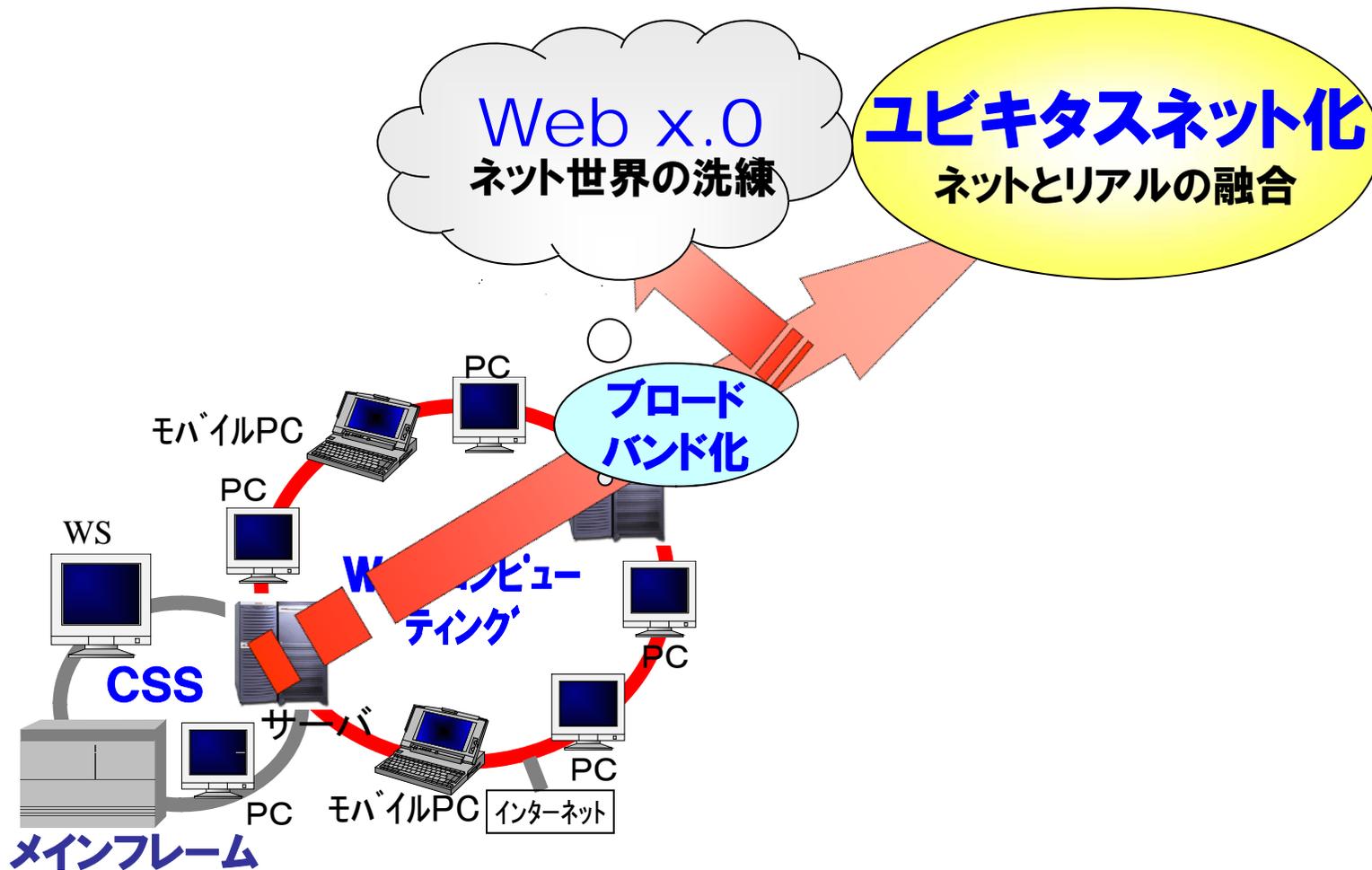
放置すれば民間のイニシアティブだけでは始まらないテーマを中心にICT産業の「夢」に結びつく研究開発の長期的視野にたった着実な実施を確認

III. 若手の研究者や若者にICTの「夢」をもたらす

若手の研究者や若者に「夢」をもたらし、ICTへの関心を高めるような研究開発体制の実現

I. ICTのフロンティアと生活者の「夢」

- 通信・放送融合サービス
- スマートグリッド
- クラウドコンピューティング
- ポストツイッター、etc.
- ワイヤレス電源供給、コードレス家電
- ボディアリアネットワーク、体内ロボット
- 拡張現実(AR)、超臨場感通信
- 日英・日中自動翻訳システム、etc.

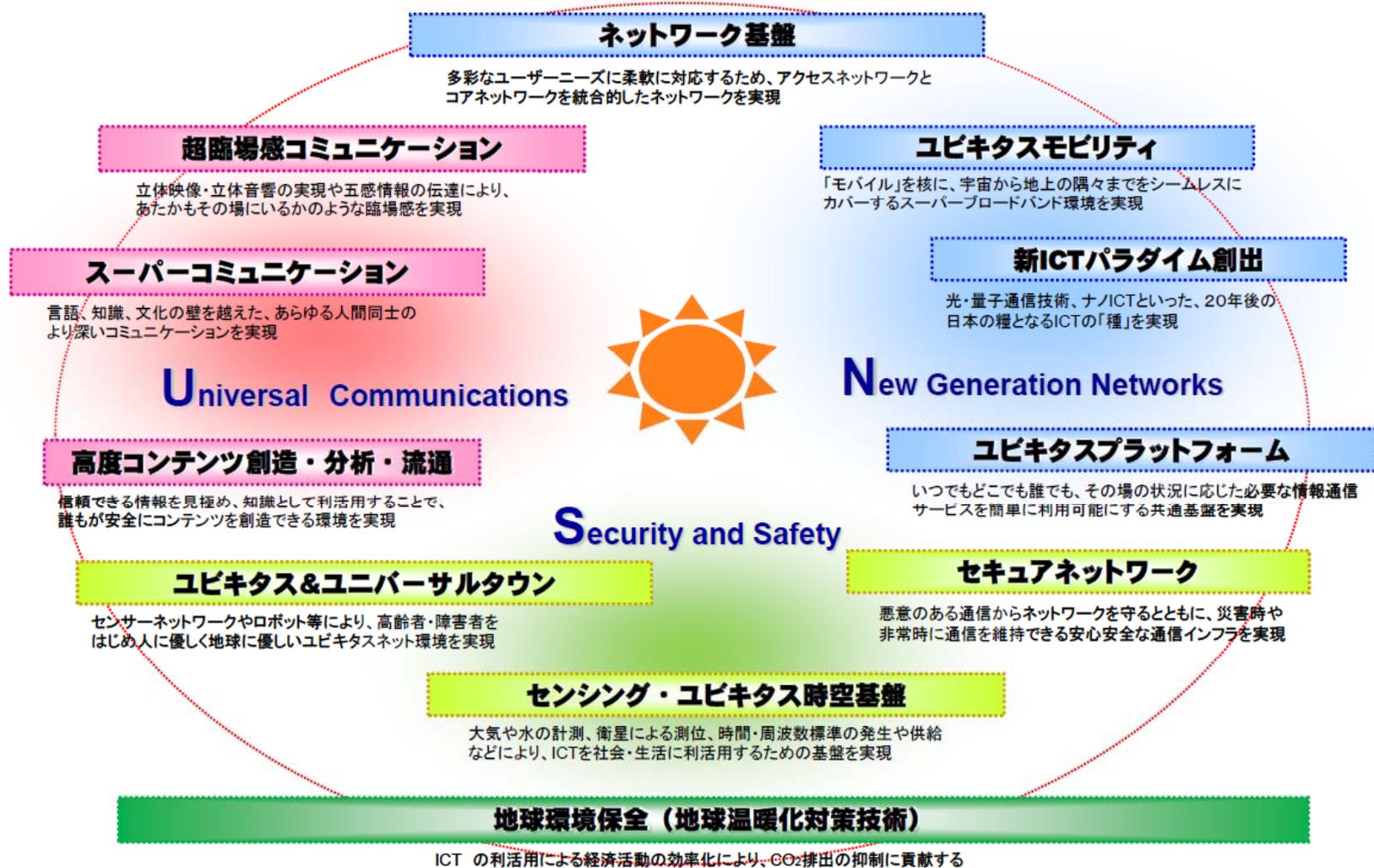


ICTのフロンティアと生活者の「夢」



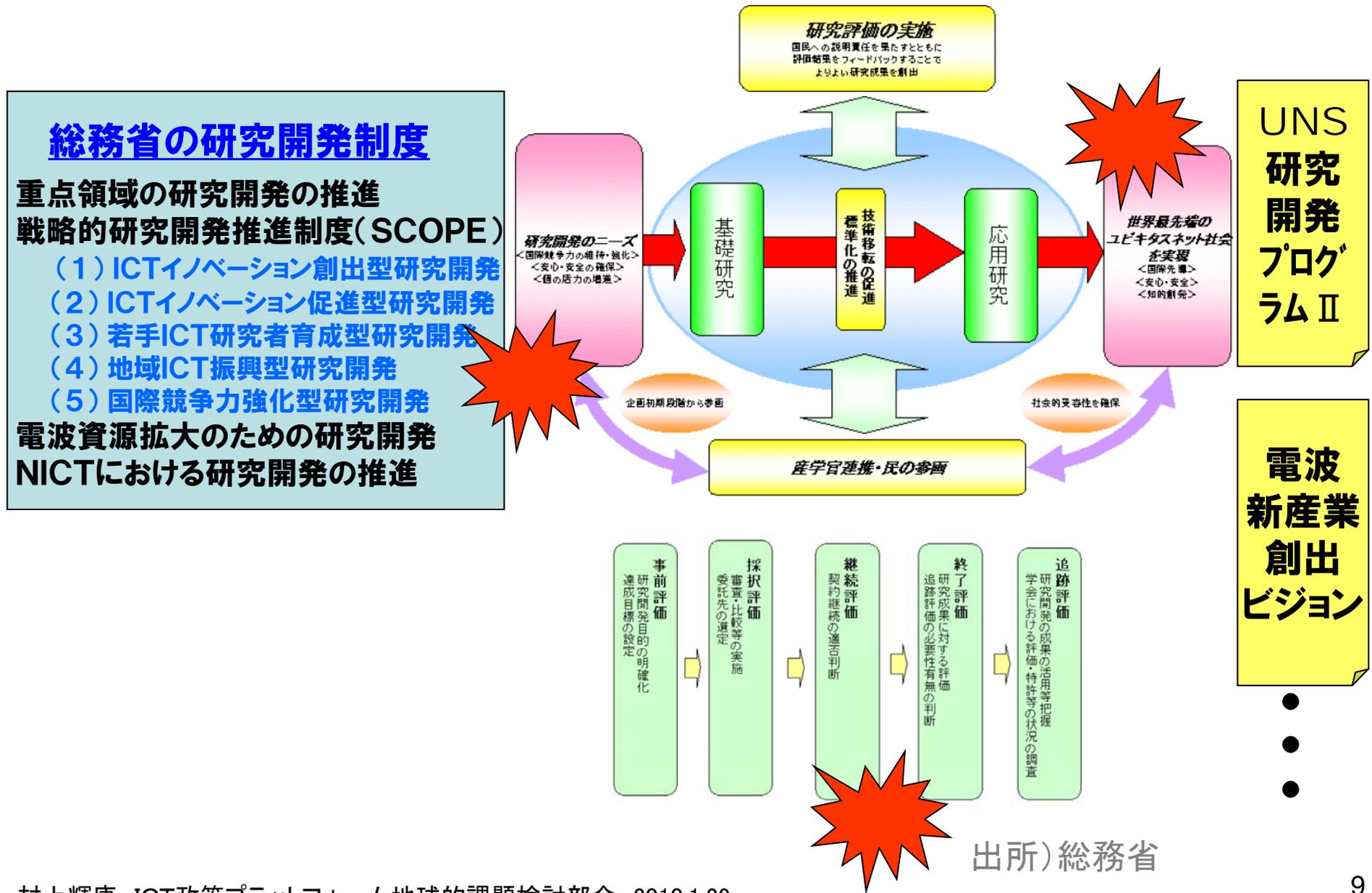
II. 長期研究開発計画の着実な実施を確認

UNS (Ubiquitous Network Society) 研究開発戦略プログラムII



出所) 総務省、UNS研究開発戦略プログラムII、2008

III. 若手の研究者や若者の「夢」につながる研究開発とは



ICT「夢」プロジェクト制度(夢プロ)

■ テーマ設定公募型⇒テーマ創出提案型

- ・『「夢」作り(by/of)ICT』だけのしぼりでの提案

■ 機関委任⇒PM研究者委任

- ・35歳以下、兼任不可、PM人件費保証

■ 単年度⇒有期複数年度

- ・長期的なプランニング、3年、5年？

■ プロセス評価型⇒事後評価型

- ・多産多死の政府研究開発、「夢」の sunk cost